

# 特定非営利活動法人大阪マスターズ陸上競技連盟

## 第38回理事会議事概要

- 招集月日 2022年11月24日(木)
- 開催日時 2022年12月14日(水) 18:30~21:00
- 開催場所 大阪市立難波市民学習センター 多目的室(アトリエ)  
大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階 (電話) 06-6643-7010
- 理事総数 22人
- 出席理事 19人(本人出席;12人、議決権行使者;7人) 出席監事 2人

会 長 椎木 茂久  
副会長 赤峰フミコ、山中 保博  
専務理事 池上 健三  
常務理事 安達 芳恵、井指 康裕、小西 宏之、坂下 勝正、柴田 秀治、  
理事 深尾 真美、藤田 幸久、並川 耕土、村井 正信  
理事 大倉 節子、数野 哲也、神谷 亭市、津田 光央、鶴川 久寿、  
理事 早川 禎一、松島 忠土、三宅 要、森井 正和  
(注) 氏名の下線は議決権行使者。斜体字の氏名は欠席者。  
監 事 中島 静一、福本 康史

### ■議案の経過要領および議案別議決の結果

#### 第1号議案 第29回近畿マスターズ駅伝について

坂下常務理事から、2023年3月18日開催予定の第29回近畿マスターズ駅伝の概要および自動計測業者(株)チョッパーに運營業務の一部を委託することや実行委員会の開催などについて報告された。また、大倉理事より大阪マスターズ選手団編成に関して6連覇を目指すこと、3月4日に長居で合同練習会を行うが例年行っていた結団式や懇親会は行わないことなどが説明された。これを受けて、議長が意見・要望などを募ったところ、次のような意見・要望が出された。

➤1. 駅伝たすき(計測チップ)の回収は誰がするのか明確にしておかないと運営に支障がでる。

競技者係等で分担するならばその旨、役割を明確にしておく必要がある。

・タグ回収スタッフは見積対象外項目となっているので、業者に確認する。(坂下常務理事)

➤2. たすきの現物見本を次回打合せの際に持ってきてもらいたい。(安達常務理事)

➤3. 体調管理チェックシートをチーム単位で一括して提出してもらえば高体連等で行っている一覧表方式を採用したらどうか。

・検討するので、ひな型を提供して欲しい。(池上専務理事)

これらの提案・説明を受けて議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された

#### 第2号議案 2023年度事業計画について

池上専務理事から、競技会等についての大阪陸協および関係団体との日程調整会議について、夏以降ヤンマーフィールド長居が改修のため使えないため、4~6月に南部忠平杯、大阪マスターズ選手権の開催を希望し、できるだけ日曜日開催になるよう希望したことなどが説明された。

次いで、継続案件のシステム化への検討について①会計ソフトの導入、②会員登録システム及び競技会エントリーシステムの構築、③ホームページのリニューアル、④パソコンの新規購入、⑤メールアドレスの更新についての基本的な考え方が示された。その後、村井常務理事より情報機器が老朽化しているので買い替えや増備の検討が必要な時期に来ており、機器の更新等について計画書を作成し理事会に報告するので検討して欲しいとの説明があった。

これを受けて、議長が2023年度事業計画について意見・要望等を募ったところ、次のような意見・要望が出された。

➤1. 情報機器(パソコン)について購入だけでなく、リース方式も検討したいので情報があれば

提供してほしい。ただし、サーバー用は購入とする。(村井常務理事)

- ・少ない台数でもリースできる業者を調べて情報提供をする。(椎木会長)

➤2. 競技結果の速報システムの導入も同時に検討したらどうか。

- ・システム上は可能であり、今後詰めていく。次回理事会までにホームページ運営委託先のニーズと打合せして結果を報告する。(池上専務理事・村井常務理事)

これらの論議を受けて、議長が、2023年度事業計画についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

### 第3号議案 2023年度会報発行計画について

池上専務理事から会報発行計画について、基本的には2022年度版を踏襲し、会報と競技会要項を分けて発行すること(発行部数は900部、3月9日頃の発送を予定)。また、会報編集委員の分担案などについてなどが説明、提案された。

また、南部忠平杯が4月23日になったことによって、会報の発行が3月上旬になることから、南部忠平杯の要項・申込書が申込締め切り日までに会員に周知・徹底できない可能性があるため会報とは別便で送付するなどの対応を検討する必要があるとの説明がなされた。これを受けて、議長が意見・要望などを募ったところ、特に意見・要望がなかったため、議長が2023年度会報発行計画についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

### 第4号議案 2023年度継続会員募集と総会について

池上専務理事から2023年度継続会員募集と、2023年度通常総会および2022年度事業報告(概況)の案内送付について説明、提案された。さらに2023年度から陸連登録料が改定される予定で、陸連登録料を含む大阪陸協登録料が改定されることが見込まれているが、陸協の最終決定は1月の下旬ころになるため、大阪マスターズの継続会員募集案内の金額表示の検討が必要との追加説明がなされ、試算としてマスターズ手数料込みで4,500円の金額が提示された。これを受けて、議長が意見を募ったところ、次のような意見・要望が出された。

➤1. 総会の会場が講堂から研修室になるが、出席者が収容人員を超える可能性はないのか。

- ・総会の場所は前回と同じ大阪市立難波市民学習センターではあるが、前年度に使用した講堂ではなく第一研修室に変更になるが、これまでの総会参加者数から見て収容人数には問題はないと思われる。今回も委任状での出席を案内する予定である。(池上専務理事)

➤2. 大阪マスターズが徴収する陸協登録料(陸連登料含む)を5,000円もしくは4,500円にあげたらどうか?

➤3. 大阪陸協の金額が決まるまで大阪マスターズの募集の時期を遅らせるのはどうか?

- ・大阪マスターズ事務局の事務手続きが集中して作業が追いつかないのでそれは日程的に厳しい。(池上専務理事)

➤4. 4,500円にするのが妥当ではないか。

➤5. 個人で大阪陸協登録するより団体から登録するほうが費用は安いのか?

- ・団体登録の方が個人登録より安い。(池上専務理事)

これらの論議を受けて賛否を諮ったところ、大阪陸協登録費用をマスターズの事務手数料込みで4,500円にすることを含め全員意義なく承認、可決された。

### 第5号議案 2022年度事業の総括と2023年度の事業運営について

池上専務理事から2022年度事業の総括について、①事業の収支見込み、②主要事業の参加者数、③新型コロナウイルス感染防止対策、④競技者受付係と競技者係連携やコール時間の取り扱い、⑤投てき用具の検定と買い替え・増備等、⑥競歩競技の制限時間、⑦競技結果速報システムの構築、⑧ヤンマーフィールドにおける電光掲示板の活用促進、⑨各競技会等の運営ノウハウの蓄

積等について説明、提案がなされた。

続いて 2023 年度事業運営方針について、①新型コロナウイルス対策、②競技会実施種目の見直し、③100mへの予選・決勝方式の導入の検討、④競技会の担当（競技会担当については、次回に持ち越し改めて提案する）などについて、説明、提案がなされた。

これを受けて、議長が意見を募ったところ、次のような意見・要望が出された。

- 1.活動計算書の数値について、受取助成金など数か所の記載誤りがある。
  - ・誤記載と思われるので、確認して訂正する（池上専務理事）
- 2.経常収益推移の棒グラフと推移表の年度の記載順序が異なっているので合わせた方が見やすいのではないか。
  - ・年度の記載順序を再検討する。（池上専務理事）
- 3.投てきの器具の買い替えについては、事前にヤンマーフィールド長居で検定をしてから何個買い増しが必要かを検討したほうが良い。
  - ・早い方が良いので、段取りは山中副会長にお願いする。（池上専務理事）
- 4.競歩と長距離種目（3000m、5000m、3000m W、5000m W）の周回の制限時間が近畿マスターズの他府県よりも短いので緩和して合わせるはどうか？ 現状は 3000m；大阪 18 分…他府県 20 分、5000m；大阪 28 分…他府県 30 分、3000W；大阪 25 分…他府県 30 分である。
  - ・緩和する方向で検討する。宿題として持ち帰らせていただく。（池上専務理事）
- 5.電光掲示板の活用については、審判員の確保や最終の詰めはできていないが 2023 年度よりヤンマーフィールドでは使っていく方向で考える。（村井常務理事）
- 6.大阪マスターズは大会の回数が多いので、特徴のある競技会にしていきたい。短距離種目で（A）予選と決勝を行う。（B）年齢順ではなく持ちタイム順にスタートを並べる、という方式を考えている。南部忠平杯で 60m をやめて 100m の種目に予選・決勝方式をとりいれたらどうか？
- 7.タイム順に並べることは、すぐにでも対応できる。複数組になる M30～M60 くらいで実施するのはどうか。（池上専務理事）
- 8.決勝レースを行うとすると 6～7 組くらい増えるのではないか、また予選と決勝は 2 時間ほど時間をあける必要がある。
- 9.新しい試みはどんどんすれば良い。もしうまくいかなかったらやめたら良いだけである。
  - ・井指常務理事に細部を検討したうえで具体的な提案書の作成をお願いする。次の理事会に提案して欲しい。（池上専務理事）

活発な議論がおこなわれたあと議長が賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

## その他意見交換について

議案審議が終了したので、その他意見・要望などを募ったところ、次のような意見・要望・質問等が出された。

- 1. 大阪マスターズ事務局の移転問題は継続検討なのか？
  - ・現状手狭であり良い環境でないことは十分に理解しているが、費用の問題もあり継続検討している。（椎木会長）
- 2. 競技会の際に大阪マスターズ所有の投てきの器具と競技場所有の器具を誤認してもって帰ることもあるので、防止のため印をつけるなどして工夫が必要である。
  - ・器具の管理方法について再検討する。（池上専務理事）
- 3. 服部緑地競技場の指定管理者が 4 月からミズノから他社（ウエルネスサプライ）に変更になる。いまは引継ぎをしている。（池上専務理事）